

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

第4回日韓若手研究者シンポジウム開催報告

若手会員の会運営委員会前委員長 佐藤 裕 (東北大学)

Report : 4th KWS-JWS Joint Symposium of Young Researchers

去る4月9日(水)、平成20年度溶接学会春季全国大会2日目の午後に、日本の溶接学会と韓国溶接接合学会(Korean Welding and Joining Society; KWJS)の若手研究者合同シンポジウムを開催いたしました。平成17年春に韓国ソウルで開催されて以降、毎年春に韓国と日本で交互に主催し、今回で第4回目を数えました。さすがに4回目ともなりますと、お互いに顔見知りとなっている方もおり、以前に比べてかなりフレンドリーなシンポジウムとなりました。

シンポジウムの開催に先立って、西本学会長よりご挨拶いただき、益々の日韓友好関係の構築を誓いながら、基調講演2件を含む全12講演からシンポジウムがスタートしました。プログラムは以下のとおりです。

シンポジウムプログラム

<セッション1>

- Study on welding residual stress redistribution of CTOD test specimen by local compression by Dr. Sung-Min Joo (RIST)
- Formation of Ti_3SiC_2 on SiC by Control of Interfacial Reaction between SiC and Ti/Al Multilayer by Prof. Masakatsu Maeda (Osaka University)
- Characterization and Reliability Evaluation of Sn-Ag-Cu-In Quaternary Solder Alloy by Dr. Jong-Hyun Lee (KITECH)
- Development of Ultra-High-Speed GTA Welding

Process Using Pulse-Heated Hot Wire by Mr. T. Uchida (Hiroshima University)

- Influence of nitrogen in shielding gas on the pitting corrosion resistance of weld of a super duplex stainless steel by Dr. Chun-Ho Jee (Hyundai Heavy Industry)

<セッション2>

- 基調講演1 “Collaboration between Korea and Japan in AWF” by Dr. H. Nomura (General Advisor of JWES)
- 基調講演2 “How to enjoy Asean Local Condition in terms of welding technology & Industry” by Mr. S. Inoue (Director of the Japan Singapore Association, and Adviser of the Singapore Welding Society)

<セッション3>

- Direct observation of solidification process in gas tungsten arc welding of steels by Prof. H. Terasaki (Osaka University)
- Inherent strain based fatigue damage model for welded structures by Prof. Jae Myung Lee (Pusan National University)
- Microstructure and mechanical properties in friction stir welded Ti-6Al-4V by Prof. Yutaka S. Sato (Tohoku University)
- Life Prediction of Sn-Ag-Cu Solder Joints with

Surface Finish under Long Term Thermal Stress
Condition by Dr. Wong Sik Hong (KETI)

• Friction Spot Joining of High Strength Steel
Sheet by Mr. Ryoji Ohashi (Kawasaki Heavy
Industries)

参加者数も50名を超え、大変盛大なシンポジウムにすることができました。セッション2における基調講演2件は、若手会員の会の恒例行事であるイブニングフォーラムの代替えとして企画したものです。日韓の若手双方にとって有意義なものにしたいという願いから、アジアにおける溶接界の今後について、さらにはアジアの中で日本の役割について常日頃から考えられておられるお二方よりご講演いただきました。野村博一氏には、アジア溶接連盟における日韓の役割について、井上誠一氏にはアジアにおける溶接界の現状と今後の方向性について熱く語っていただき、私自身、大変勉強になりました。

若手の講演に対しても、フレンドリーながらも、活発な討論、議論が繰り広げられ、ときには日韓での溶接研究の違いや状況などを踏まえながら、共同研究に発展しそうなところまで至っているものもあり、このような国際的活動と友好関係の重要性を改めて認識させられました。

シンポジウム後には、近くのWTCコスモタワー46Fに位置する海鮮居酒屋にて親睦会を開催し、日韓若手総勢30名が入り乱れての交流が行われました。その後、大阪ミナミへ移動して、お好み焼きや焼きそばを囲んでのセカンドラウンドへと突入し、より深い友好関係を築くことができました。

最後になりましたが、このシンポジウムを成功に導いて下さいましたKWJS若手参加メンバー代表のDr. Hong (KETI)、韓国側参加者、講演者、若手会員の会の皆様、そして突然の要請ながら座長と懇親会のセッティングにご尽力いただきました森元委員長(大阪大学)に心から感謝の意を表したいと思います。また、小生自身、このシンポジウムを最後に若手会員の会運営委員長を退くことになりました。2年という短い間、小生の勝手気ままな振る舞いにもご支援、ご協力いただきました理事会、事務局、運営委員の皆様にも厚く御礼申し上げます。若手会員の会は、4月より山本新委員長のもと、新たなスタートを切っております。今後も、無理のない範囲で本会を大いにご活用いただき、若手研究者・技術者間のネットワークをより一層広げていただければ幸いです。今後とも、本会の活動に対しましてご支援、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。佐藤 裕(若手会員の会前委員長、東北大学)

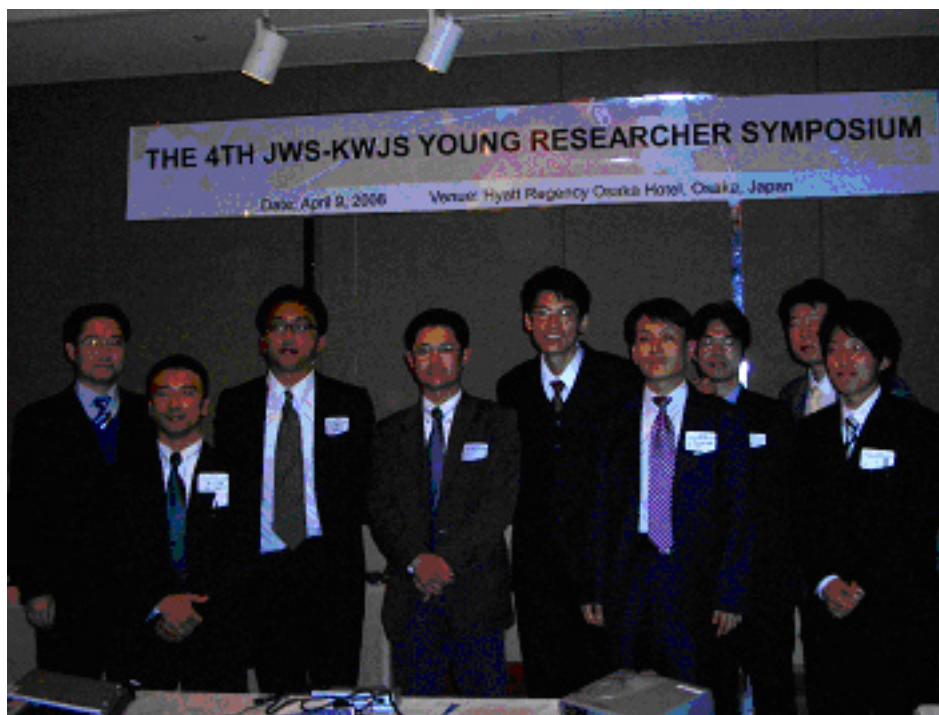


写真 シンポジウムでの講演者